



格納庫内で、やや膨らんだ無人飛行船の巨体を、間近で視察する大樹町議ら

成層圏プラットフォーム計画

【大樹】国が計画する「成層圏プラットフォーム」の研究、開発に伴い、2004年に大樹町で行われる定点滞空飛行試験の施設整備が終了し、宇宙航空研究開発機構(JAXA)と通信・放送機構(TAO)は16日、同町多目的航空公園で、地

飛行船格納庫など完成

大樹で地元関係者に公開

元関係者に対し飛行船用格納庫や飛行管制塔を公開した。飛行船の浮上試験は来年3月から、本格的な飛行試験は12月までの半年間に、計30フライトを予定している。同計画は、日本上空の高度約20キロの成層圏に、全長約250メートルの巨大な無人飛行船を千数機浮かべ、人工衛星のように通信や放送、地球観測に役立てようとするもの。

飛行試験には60級級の飛行船を使用。遠隔と自動操縦で上空約4キロまでプロペラ動力で移動、一定位置に機体を常駐する技術を確立する。上昇、降下、回収などの運転技術も確認する。

この日は、同町の議会議員ら50人が訪れた。同公園滑走路北側の格納庫は長さ90メートル、耐風、耐雪を考慮し、正面から見ると7角形をした独特の外観。

内部には、また尾翼などを取り付けていない全長67メートルの飛行船が、少し膨らんだ状態で横たわっていた。格納庫の隣には、飛行船を操縦する3階建ての管制塔も。参加者は、さながら「宇宙基地」を思わせる光景に驚きの声を上げた。

幕別、法定協移行を議決 管内初

市町村合併

【幕別】町議会本会議が16日午後開かれ、幕別町、更別村、忠類村による法定合併協議会「十勝中央合併協議会」の設置に関する議案を起立多数で可決した。管内の自治体で法定協移行を決定したのは幕別町が初めて。法定協設置を可とした合併調査特別委員会報告の後、討論では、野原恵子氏(共産)が「もっと時間をかけ、住民に必要な(合併した時の)項目の説明を行うべきだ」と反対意見を述べた。一方、永井繁樹氏(政友会)は賛成の立場で「任意協などの経過は丁寧な説明を受けてきた。合併そのものの賛否は今後の協議を待た



発行所
十勝毎日新聞社
©十勝毎日新聞社2003
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
TEL(代表)0155-22-2121
編集局 0155-22-2121
広告局 0155-23-2323
販売局 0155-24-2222
事業局 0155-22-7555
総務局 0155-24-2299
広尾支局 01558-2-4111
池田支局 01557-2-2367
本別支局 01562-2-2618
新得支局 01566-4-5524
札幌支社 011-261-2161
東京支社 03-3544-1365